

# 令和7年度

## 地域部活動推進事業に係る

## 実証事業報告会



令和7年2月12日  
熊谷市教育委員会

# 本日の内容

- 1 熊谷市の中学校について
- 2 熊谷市の部活動の現状について
- 3 熊谷モデルについて
- 4 事後アンケートの回答について

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート



16校

令和7年度生徒数 4, 3 2 2 人

令和2年度生徒数 4, 7 4 4 人

平成27年度生徒数 5, 2 7 9 人

10年で生徒数は約1,000人減少



中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

令和7年度	運動部所属生徒	3, 145人
	文化部所属生徒	666人
令和2年度	運動部所属生徒	3, 615人
	文化部所属生徒	調査なし
平成27年度	運動部所属生徒	4, 201人
	文化部所属生徒	調査なし

10年で運動部所属も約1,000人減少

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

令和7年度 運動部数 1 6 2  
文化部数 3 2

令和2年度 運動部数 1 6 7  
文化部数 3 6

平成27年度 運動部数 1 6 7  
文化部数 3 6

学校によって部活動  
数の見直し

(団体種目などでは単独校での出場が困難な学校も出てきている)

生徒数は減っているが変化なし

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

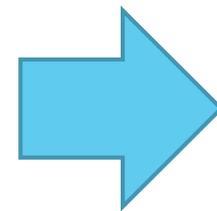
## 部活動地域連携熊谷モデル（令和5年度より）

少子化の進行

教員の働き方改革の実現

地域との連携

指導者の確保



多くの課題が山積

少子化の中でも**生徒にとって望ましい**持続可能な部活動と教員の働き方改革の実現を図ることを目的とし、令和5年度より、スポーツ庁の委託事業である「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）」を受託し、実証事業を開始

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

実証種目	R5	陸上、剣道
	R6、7	陸上、剣道、ラグビー

陸上

全中学校が参加する陸上大会が年4回開催  
(通信、学総、新人、駅伝) されているが、  
年々大会参加選手数が減少している。  
(昨年度より100人減)

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 剣道

13校で剣道部を設置（R7に1校廃部）している。  
指導者に専門的な知識が必要とされるが、未経験者が顧問になっている学校もある。

## ラグビー

幼少期からラグビーに取り組める環境があり、競技人口も多いが、中学校では5校のみにしか部活動が設置されていない。

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 概要①

○熊谷市部活動地域連携・移行に向けた  
検討協議会の設置

### 検討協議会のメンバー

埼玉県スポーツ協会専務理事、熊谷市スポーツ協会専務理事、熊谷市中学校体育連盟会長、熊谷市教育委員会学校教育課長、スポーツタウン推進課長、各種目指導者代表、熊谷市中学校体育連盟理事長、副理事長、熊谷市教育委員会学校教育課体育担当指導主事

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 概要②

- 市内すべての中学生を対象に希望者を募集
- 活動計画は指導者が作成  
(令和7年度は8月から12月)
- 実証期間は、指定した土曜日に実施

中学校

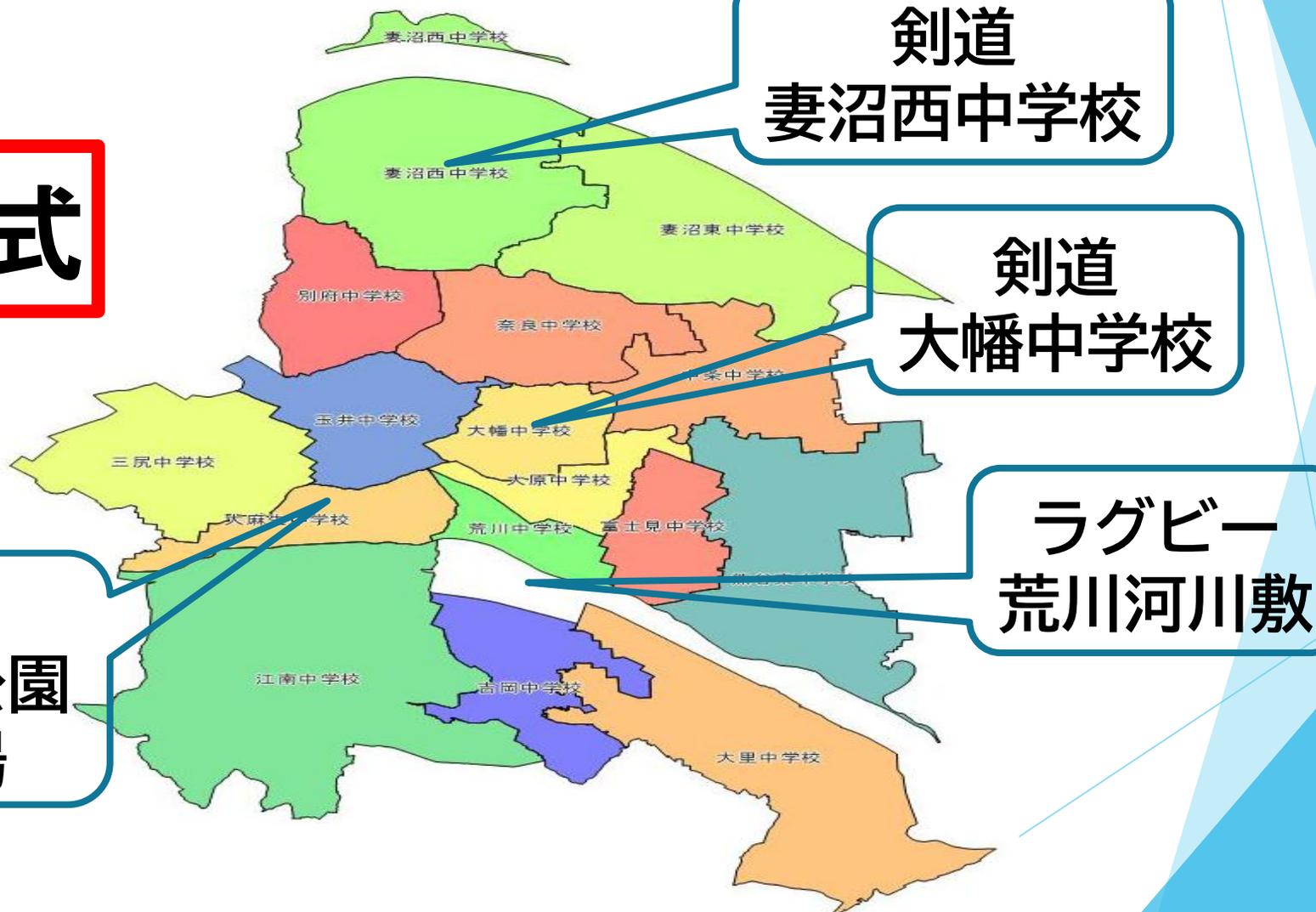
部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

概要③

拠点方式



中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 概要③

○指導者は、地域の人材と、兼職兼業願いを出した教員（中学校、小学校）等

### 地域の人材

外部指導者、熊谷市スポーツ協会所属の指導者、高校指導者、大学指導者および学生、熊谷市教育委員会

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 令和7年度 参加生徒

○陸上 75人（11校）

○剣道 34人（8校）

○ラグビー 98人（8校）

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 成果

- ①ほとんどの生徒が「技術が向上した」と答えた。
- ②専門的な指導が受けられて良かったと答えた生徒・保護者がいた。  
(県大会に初めて出場者できた生徒もいた)
- ③学校に無い部活動の種目に取り組むことができた。

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 成果

- ④人数の少ない中で活動している生徒が、多くの人数の中で活動することができた。
- ⑤参加生徒が多い学校は実証事業の日は、自校の部活動を休みにして、顧問が休めた。
- ⑥大会期間中、地域連携の仲間（他校同士）で、ウォーミングアップ等をする姿が見られた。

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 課題と解決策

- ①保護者の送迎による負担  
→拠点を増やし負担の分散
- ②中心となる指導者が急に休みになったときの対応  
→中心となる指導者の複数配置

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 課題と解決策

- ③活動を休みにする際（悪天候）の連絡手段  
→各種目のスマートフォンを契約  
電話番号とメールを登録し、一斉送信
- ④指導者の確保  
→令和7年度より熊谷市陸上教室と連携

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後  
アンケート

## 事後アンケート①-1

Q 保護者や生徒、指導者のそれぞれの反応

A 保護者、生徒

○剣道を習う小学生が激減しており、部活においても人数が足りない学校が増えていくと思われるので今後もこの取り組みを継続して欲しいと思います。

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後アンケート

## 事後アンケート①-2

Q 保護者や生徒、指導者のそれぞれの反応

A 保護者、生徒

○今まで使っていなかった筋肉を使ったようで、練習の後はとても疲れている様子でした。こういったトレーニングをすれば良いかを学べて参加して良かった。

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後アンケート

## 事後アンケート①-3

Q 保護者や生徒、指導者のそれぞれの反応

A 保護者、生徒

○通っている学校には陸上部がないので、参加できて良かった。

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後アンケート

## 事後アンケート①-4

Q 保護者や生徒、指導者のそれぞれの反応

A 保護者、生徒

○ずっとやってて欲しいくらい。強くなれてとても良かったです。

○部活動地域連携熊谷モデルを継続して欲しいです。

中学校

部活動

熊谷  
モデル

事後アンケート

## 事後アンケート①-5

Q 保護者や生徒、指導者のそれぞれの反応

A 指導者

- 人数が多く、練習の内容が充実した
- 切磋琢磨している様子を見ることができた
- 大会等での生徒同士の交流が増えた
- 生徒たちの活躍が楽しみになった

ご清聴  
ありがとうございました

